

# 農業技術 リズム

タマネギ後に水稲早生品種「なつほのか」を栽培する場合、移植から幼穂形成期まで35日程度しかないため、移植後20日から25日ほどで中干しを開始する必要があります。短期間で茎数を確保するためには密植にする方が有利ですが、密植には多くの苗を必要とします。

そこで、苗箱の削減のため苗を高密度播種(はしゅ)苗とし、さらに施肥の省力化のため育苗箱全量施肥を組み合わせた栽培法を検討しました。「なつほのか」の高密度播種苗を株間16センチで移植すると10坪当たり苗箱数は慣行苗の

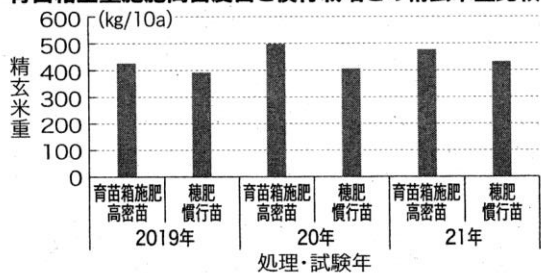
約半数の約12箱で移植可能です。また、高密度苗の播種量は1箱当たり乾もみ300gが移植時の苗折れ、苗詰まり、

## タマネギ後の「なつほのか」栽培

### 高密度播種、全量施肥 慣行超える収量確保

苗落下がなく実用上適します。育苗箱全量施肥は専用の100日タイプ被覆尿素肥料を窒素成分で本田施肥量と同

育苗箱全量施肥高密度苗と慣行栽培との精玄米重比較



量を施肥すると慣行栽培と同等以上の収量を確保することができます。

倒伏やいもち病の発生の恐れがある地方の高い圃場(ほじょう)では、無肥料にして浅耕や中干しを十分行うなど窒素吸収の抑制や地耐力の向上に努めましょう。

(長崎県農林技術開発センター 農産園芸研究部門作物研究室室長 古賀潤弥)